

2014年度第2四半期決算説明会



2014年10月30日

---

# 1. 2014年度第2四半期決算実績概要

---

# 2014年度2Q実績 (2014.4.1 - 2014.9.30) <対前年度実績>

**ポイント** 5期連続増収・3期連続増益(売上高・3利益歴代1位) ( + - , +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

<b>売上高</b>	+975 (+10.4%)	:	<b>+</b> 都市ガス売上増	(+732(+11.0%):数量差+389,単価差+351(スライド差+411、料金改定▲94等)等)	・	↑
			<b>+</b> 電力売上増	(+166(24.8%):数量差+77、単価差+88)		
			<b>+</b> 海外売上増	(+64(+73.7%):プルート売上増、バーネット通期寄与による売上増等)		
<b>営業費用</b>	▲915 (▲10.6%)	:	<b>-</b> 都市ガス原材料費増	(▲729(▲17.8%):数量差▲337、単価差▲392(為替▲153、油価▲3、価格改定他))		
			<b>-</b> 電力燃料費増	(▲152(▲35.0%):数量差▲50、単価差▲101)		
<b>営業利益</b>	+60 (+8.9%)	:	<b>+</b> 都市ガス利益増	(+8(+1.3%):ガス粗利+11(数量差+52(内気温影響+7),単価差▲41(スライド差+30,料金改定▲94等))		
			<b>+</b> 電力利益増	(+21(+20.7%):電力粗利+14(数量差+27、単価差▲13))		
			<b>+</b> 海外利益増	(+20(+119.0%):プルート利益増等)		
<b>特別損益</b>	+118 (▲20→+98)	:	<b>+</b> 固定資産売却益+54、投資有価証券売却益+48等			

スライドタイムラグ差 +30  
(+109 → +139)

(単位:億円)

	2014年度2Q	2013年度2Q	増減	%	前回見通し(7/31)	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	7,192	6,673	+519	+7.8%	7,136	+56	+0.8%
電力販売量(億kWh)	53.1	47.6	+5.5	+11.6%	53.7	▲0.6	▲1.1%
売上高	10,310	9,335	+975	+10.4%	10,330	▲20	▲0.2%
営業費用	9,564	8,649	+915	+10.6%	9,700	▲136	▲1.4%
営業利益	745	685	+60	+8.9%	630	+115	+18.3%
経常利益...①	726	649	+77	+11.8%	620	+106	+17.1%
当期純利益	570	427	+143	+33.3%	530	+40	+7.5%
気温影響...②	▲34	▲41	+7	—	▲38	+4	—
スライドタイムラグ...③	139	109	+30	—	105	+34	—
年金数理差異償却額...④	15	▲11	+26	—	15	0	—
補正経常利益...①—(②+③+④)	606	592	+14*	+2.4%	538	+68	+12.6%
補正当期純利益	488	389	+99	+25.4%	473	+15	+3.2%

※+14: ガス販売量増+45(気温影響+7控除後)、料金改定▲94、電力+21、海外+20、その他のセグメント利益他+22 年間期待運用収益率:2%

経済フレーム(2Q)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今年度実績	103.01	109.50	21.9
前年度実績	98.86 (+4.15)	107.69 (+1.81)	22.3 (▲0.4)
前回見通し	103.59 <▲0.58>	109.76 <▲0.26>	22.0 <▲0.1>

年金	運用利回り (コスト控除後)	期末資産(億円)		
2Q累計実績	2.54%	2,760		
(億円)	今年度実績	前年度実績	増減	%
設備投資	864	1,219	▲355	▲29.1%

( )内対前年度増減、<>内対前回増減

# 連結ガス販売量2Q実績

## 前年度実績 → 今年度実績

519百万m<sup>3</sup> (7.8%)の増加  
[うち気温影響 9百万m<sup>3</sup>, 0.1%の減少]

■ **家庭用** +34百万m<sup>3</sup> (+2.7%)

- 気温要因 +10百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 ▲6百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +19百万m<sup>3</sup>
- その他 +11百万m<sup>3</sup>

■ **業務用** ▲53百万m<sup>3</sup> (▲3.8%)

- 気温要因 ▲21百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 ▲15百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +3百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲20百万m<sup>3</sup>

■ **工業用** +503百万m<sup>3</sup> (+16.1%)

- 一般工業用: ▲11百万m<sup>3</sup>  
うち鹿島地区以外減 ▲42百万m<sup>3</sup>
- 発電専用: +513百万m<sup>3</sup>  
うち鹿島地区増分 +586百万m<sup>3</sup>

■ **卸** +35百万m<sup>3</sup> (+3.9%)

- 気温要因 +2百万m<sup>3</sup>
- その他 +33百万m<sup>3</sup>  
卸供給事業者需要増等

## 前回見通し → 今年度実績

56百万m<sup>3</sup> (0.8%)の増加  
[うち気温影響 3百万m<sup>3</sup>, 0.0%の増加]

■ **家庭用** +14百万m<sup>3</sup> (+1.1%)

- 気温要因 +5百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 ▲0百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +1百万m<sup>3</sup>
- その他 +8百万m<sup>3</sup>

■ **業務用** ▲17百万m<sup>3</sup> (▲1.3%)

- 気温要因 ▲3百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 0百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 ▲7百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲8百万m<sup>3</sup>

■ **工業用** +33百万m<sup>3</sup> (+0.9%)

- 一般工業用: ▲18百万m<sup>3</sup>  
うち鹿島地区以外減 ▲19百万m<sup>3</sup>
- 発電専用: +51百万m<sup>3</sup>  
うち鹿島地区増分 +70百万m<sup>3</sup>

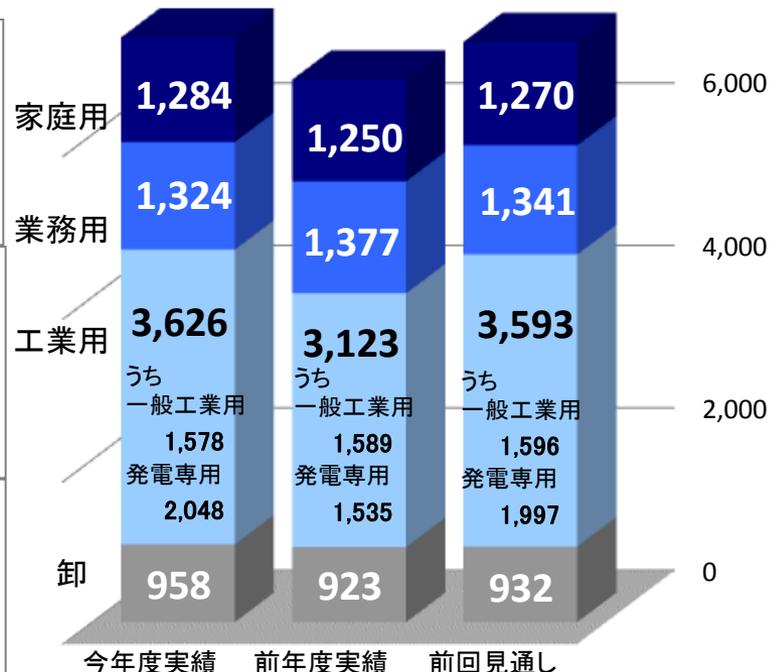
■ **卸** +26百万m<sup>3</sup> (+2.8%)

- 気温要因 +1百万m<sup>3</sup>
- その他 +25百万m<sup>3</sup>  
卸供給事業者需要増等

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)  
8,000

[7,192] [6,673] [7,136]



	今年度実績	前年度実績	増減
LNG液販売量(千t)	378	343	+35
平均気温(°C)	21.9	22.3	▲0.4

	今年度実績	前年度実績	増減
お客さま件数	1,116.8	1,102.5	+14.3 (+1.3%)
上期純増件数	5.7	4.7	+1.0(+21.7%)

## 2014年度2Q実績

### ●トーリングによるガス使用量込

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

	今年度実績	前年度実績	増減	前回見通し	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	7,192	6,673	+519 +7.8%	7,136	+56 +0.8%
トーリングによる ガス自家使用量	831	743	+88 +11.7%	845	▲14 ▲1.7%
合計	8,023	7,416	+607 +8.2%	7,981	+42 +0.5%

### ●工業用ガス販売量内訳 (単位: 百万m<sup>3</sup>)

	鹿島地区	その他地区	合計
発電専用	783	1,265	2,048
(対前年度実績)	+586(+298.8%)	▲74(▲5.5%)	+513(+33.4%)
(対前回見通し)	+70(+9.8%)	▲19(▲1.5%)	+51(+2.5%)
一般工業用	102	1,475	1,578
(対前年度実績)	+31(+43.8%)	▲42(▲2.8%)	▲11(▲0.7%)
(対前回見通し)	+1(+1.4%)	▲19(▲1.3%)	▲18(▲1.1%)
合計	885	2,741	3,626
(対前年度実績)	+618(+230.9%)	▲115(▲4.0%)	+503(+16.1%)
(対前回見通し)	+71(+8.8%)	▲38(▲1.4%)	+33(+0.9%)

(単位: 百万m<sup>3</sup>)

(参考) 卸供給に含まれる発電専用販売量内訳

発電専用	84
(対前年度実績)	+84 (-)
(対前回見通し)	+21 (+32.8%)

# 2014年度2Q実績 セグメント別売上高・営業損益 <対前年度実績>

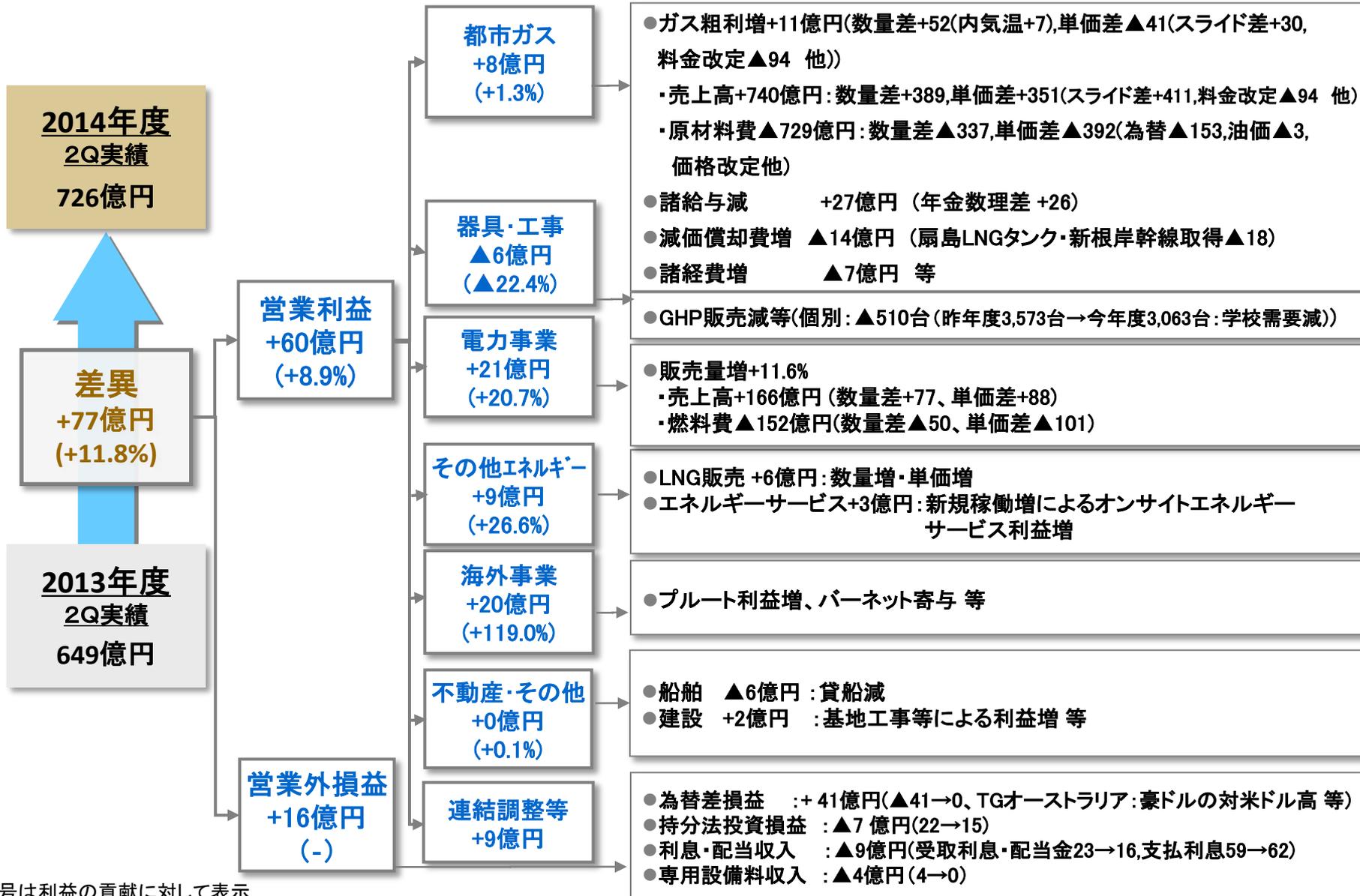
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今年度実績	前年度実績	増減	%	今年度実績	前年度実績	増減	%
都市ガス	7,378	6,646	732	11.0	667	659	8	1.3
器具及びガス工事	866	933	▲67	▲7.2	23	29	▲6	▲22.4
その他エネルギー	1,937	1,658	279	16.8	163	133	30	22.2
(電力事業)	832	666	166	24.8	120	99	21	20.7
不動産	130	145	▲15	▲10.2	31	31	▲0	▲0.3
その他	961	836	125	14.9	60	40	20	49.9
(海外事業)	151	87	64	73.7	36	16	20	119.0
調整額	▲964	▲885	▲79	—	▲200	▲209	9	—
連結	10,310	9,335	975	10.4	745	685	60	8.9

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度2Q実績 経常利益分析 <対前年度実績>

(単位: 億円)



※ 符号は利益の貢献に対して表示

---

## 2. 2014年度 通期見通し

---

# 2014年度通期見通し (2014.4.1 - 2015.3.31) <対前回見通し(7月31日発表)>

## 通期見通しのポイント 増収増益

(+ - ,+/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

<b>売上高</b>	+30	+	都市ガス売上減	(▲17(▲0.1%):数量・構成差+58,単価差▲80(スライド差▲80)等)	- - - □
	(+0.1%)	+	電力売上増	(+19(+1.1%):数量差+15、単価差+4)	スライドタイムラグ差 +73 (+35 → +108)
		+	海外売上増	(+18(+5.1%):プルート、バーネット売上増 等)	
<b>営業費用</b>	+90	+	都市ガス原材料費減	(+107(+1.0%):数量差▲46、単価差+153(為替▲197、油価+314他))	- - -
	(+0.4%)	+	電力燃料費減	(+4 (+0.3%):数量差▲11、単価差+15 )	
		+	LNG販売費用減	(+18(+2.0%):数量差+6、単価差+12)	
<b>営業利益</b>	+120	+	都市ガス利益増	(+83(+6.4%):ガス粗利+85(数量差+12(内気温影響+4)、単価差+73(スライド差+73))	
	(+9.0%)	+	電力利益増	(+19(+12.8%):数量差+1、単価差+18)	
		+	LNG販売利益増	(+16(+37.5%):数量差+0、単価差+16)	(単位:億円)

	今回見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,387	15,326	+61	+0.4%	14,735	+652	+4.4%
売上高	22,910	22,880	+30	+0.1%	21,121	+1,789	+8.5%
営業費用	21,460	21,550	▲90	▲0.4%	19,460	+2,000	+10.3%
営業利益	1,450	1,330	+120	+9.0%	1,660	▲210	▲12.7%
経常利益...①	1,370	1,260	+110	+8.7%	1,596	▲226	▲14.2%
当期純利益	1,030	970	+60	+6.2%	1,084	▲54	▲5.0%
気温影響...②	▲34	▲38	+4	—	▲25	▲9	—
スライドタイムラグ...③	108	35	+73	—	164	▲56	—
年金数理差異償却額...④	30	30	0	—	▲22	+52	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	1,266	1,233	+33*	+2.7%	1,479	▲213	▲14.4%
補正当期純利益	958	951	+7	+0.7%	1,007	▲49	▲4.9%

※+33:ガス販売量増+8(気温影響+4控除後)、電力+19、LNG販売+16、その他セグメント利益他▲10

年間期待運用収益率:2%

経済フレーム(通年)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今回見通し	106.51	104.75	16.9
前回見通し	104.29 (+2.22)	109.88 (▲5.13)	16.9 (0.0)
前年度実績	100.17 <+6.34>	110.00 <▲5.25>	17.0 <▲0.1>

年金	運用利回り (コスト控除後)	割引率	期末資産(億円)
2013年度	1.61%	1.5%	2,730
2012年度	6.10%	1.4%	2,760

(単位:億円)

設備投資	今回見通し	前回見通し	増減	%
2014年度	2,370	2,370	0	0.0%

( )内対前回増減、<>内対前年度増減

# 連結ガス販売量見通し<対前回見通し(7月31日発表)>

## 前回見通し → 今回見通し

61百万m<sup>3</sup> (0.4%)の増加

[うち気温影響 2百万m<sup>3</sup>,0.0%の増加]

### ■ 家庭用 +14百万m<sup>3</sup> (+0.4%)

- 気温要因 +5百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 ▲0百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +1百万m<sup>3</sup>
- その他 +9百万m<sup>3</sup>

### ■ 業務用 ▲28百万m<sup>3</sup> (▲1.0%)

- 気温要因 ▲3百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 0百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 ▲7百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲18百万m<sup>3</sup>

### ■ 工業用 +25百万m<sup>3</sup> (+0.4%)

- 一般工業用: ▲19百万m<sup>3</sup>  
うち鹿島地区以外減 ▲14百万m<sup>3</sup>
- 発電専用: +44百万m<sup>3</sup>  
うち鹿島地区増分 +78百万m<sup>3</sup>

### ■ 卸 +49百万m<sup>3</sup> (+2.5%)

- 気温要因 +1百万m<sup>3</sup>
  - その他 +48百万m<sup>3</sup>
- 卸供給事業者需要増等

## 前年度実績 → 今回見通し

652百万m<sup>3</sup> (4.4%)の増加

[うち気温影響 39百万m<sup>3</sup>,0.3%の減少]

### ■ 家庭用 +19百万m<sup>3</sup> (+0.6%)

- 気温要因 +1百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 ▲12百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +49百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲18百万m<sup>3</sup>

### ■ 業務用 ▲98百万m<sup>3</sup> (▲3.5%)

- 気温要因 ▲39百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 ▲21百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +3百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲41百万m<sup>3</sup>

### ■ 工業用 +663百万m<sup>3</sup> (+10.3%)

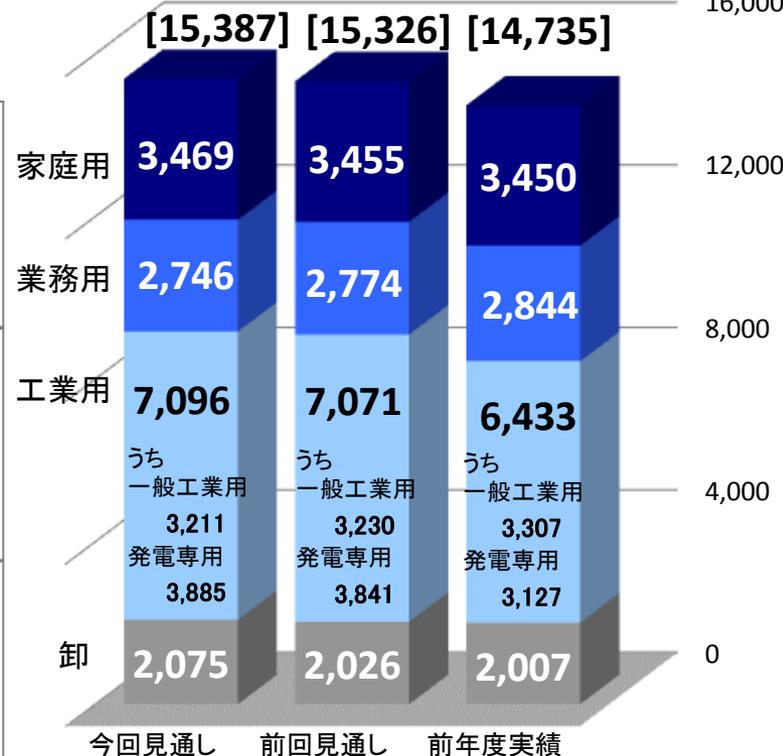
- 一般工業用: ▲96百万m<sup>3</sup>  
うち鹿島地区以外減 ▲114百万m<sup>3</sup>
- 発電専用: +758百万m<sup>3</sup>  
うち鹿島地区増分 +896百万m<sup>3</sup>

### ■ 卸 +68百万m<sup>3</sup> (+3.4%)

- 気温要因 ▲0百万m<sup>3</sup>
  - その他 +68百万m<sup>3</sup>
- 卸供給事業者需要増等

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



	今回見通し	前回見通し	増減
LNG液販売量(千t)	949	955	▲6
平均気温(℃)	16.9	16.9	0.0

### お客さま件数(万件)

今回見通し	前回見通し	増減
1,124.4	1,123.8	+0.6(+0.1%)

## 2014年度見通し

### ●トーリングによるガス使用量込

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

	今回見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,387	15,326	+61 +0.4%	14,735	+652 +4.4%
トーリングによる ガス自家使用量	1,676	1,664	+12 +0.7%	1,510	+166 +11.0%
合計	17,063	16,990	+73 +0.4%	16,245	+818 +5.0%

2020ビジョンベース      18,249      18,184      +65      17,225      +1,024

### ●工業用ガス販売量内訳 (単位: 百万m<sup>3</sup>)

	鹿島地区	その他地区	合計
発電専用	1,477	2,408	3,885
(対前回見通し)	+78(+5.5%)	▲33(▲1.4%)	+44(+1.1%)
(対前年度実績)	+896(+154.2%)	▲138(▲5.4%)	+758(+24.3%)
一般工業用	203	3,008	3,211
(対前回見通し)	▲5(▲2.4%)	▲14(▲0.5%)	▲19(▲0.6%)
(対前年度実績)	+19(+10.1%)	▲114(▲3.7%)	▲96(▲2.9%)
合計	1,680	5,416	7,096
(対前回見通し)	+73(+4.5%)	▲48(▲0.9%)	+25(+0.4%)
(対前年度実績)	+915(+119.5%)	▲252(▲4.4%)	+663(+10.3%)

(単位: 百万m<sup>3</sup>)

(参考) 卸供給に含まれる発電専用販売量内訳

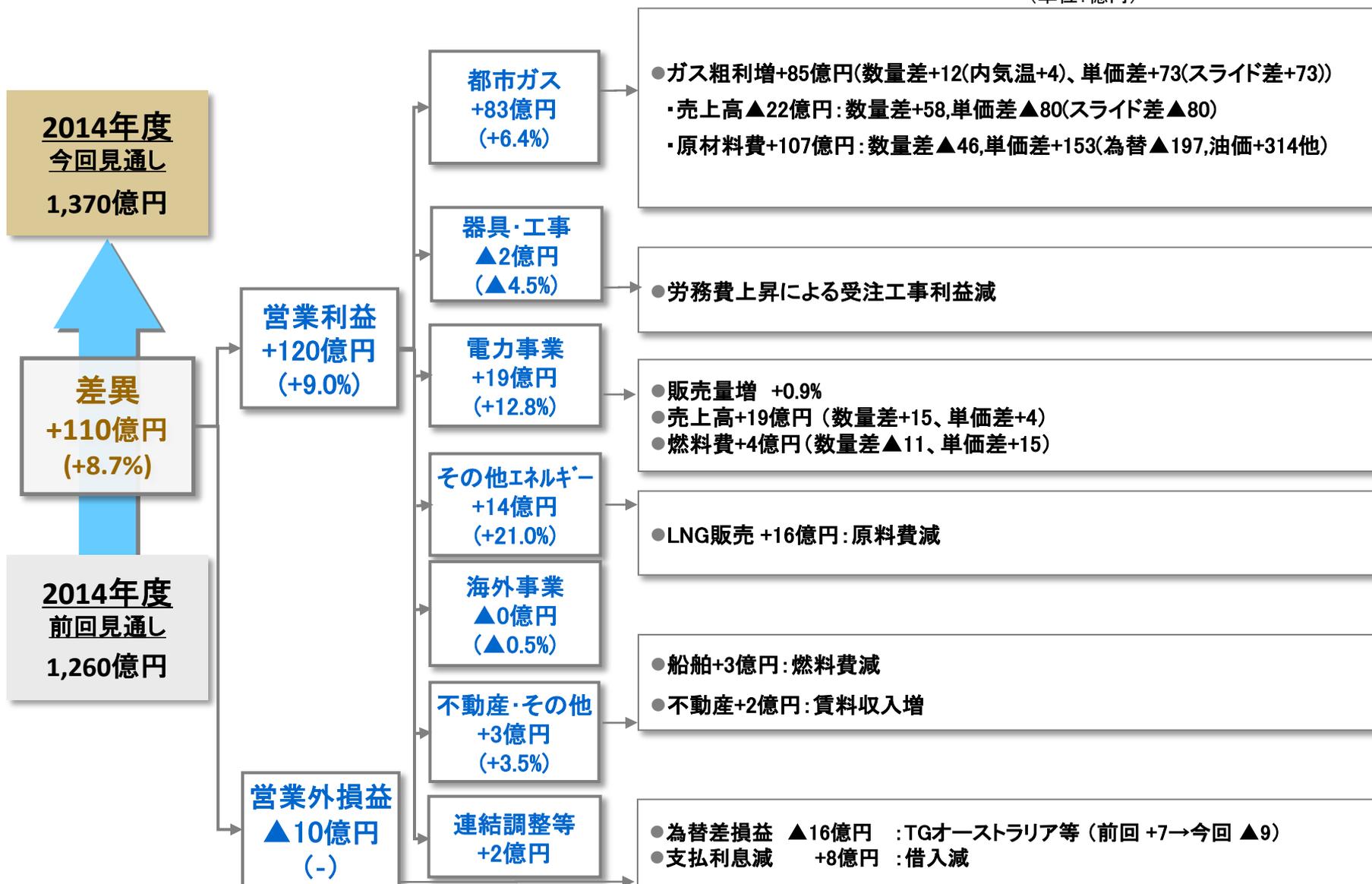
発電専用	173
(対前年度実績)	+157 (+1031.4%)
(対前回見通し)	+43 (+33.3%)

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前回見通し	増減	%	今回見通し	前回見通し	増減	%
都市ガス	16,242	16,259	▲17	▲0.1	1,371	1,288	83	6.4
器具及びガス工事	2,108	2,099	9	0.4	42	44	▲2	▲4.5
その他エネルギー	4,150	4,146	4	0.1	258	224	34	15.2
(電力事業)	1,655	1,636	19	1.1	178	159	19	12.8
不動産	242	241	1	0.4	41	39	2	5.1
その他	2,135	2,093	42	2.0	159	158	1	0.6
(海外事業)	366	348	18	5.1	96	96	▲0	▲0.5
調整額	▲1,967	▲1,958	▲9	—	▲421	▲423	2	—
連結	22,910	22,880	30	0.1	1,450	1,330	120	9.0

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

(単位: 億円)



※ 符号は利益の貢献に対して表示

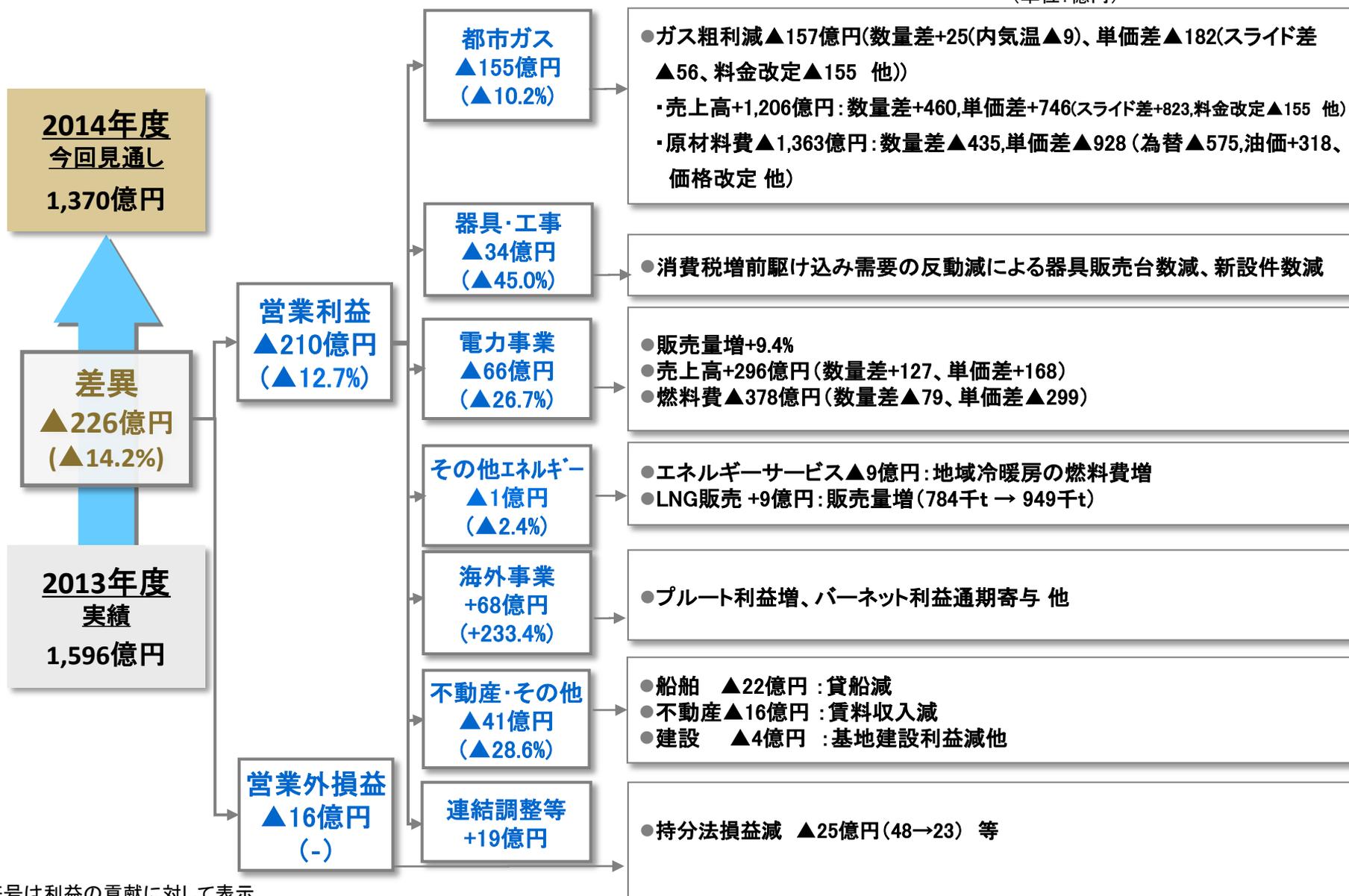
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前年度実績	増減	%	今回見通し	前年度実績	増減	%
都市ガス	16,242	15,051	1,191	7.9	1,371	1,526	▲155	▲10.2
器具及びガス工事	2,108	2,217	▲109	▲4.9	42	76	▲34	▲45.0
その他エネルギー	4,150	3,575	575	16.1	258	325	▲67	▲20.7
(電力事業)	1,655	1,359	296	21.7	178	244	▲66	▲26.7
不動産	242	283	▲41	▲14.5	41	57	▲16	▲28.1
その他	2,135	1,993	142	7.1	159	116	43	36.0
(海外事業)	366	221	145	65.6	96	28	68	233.4
調整額	▲1,967	▲2,000	33	—	▲421	▲441	19	—
連結	22,910	21,121	1,789	8.5	1,450	1,660	▲210	▲12.7

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度見通し 経常利益分析 <対前年度実績>

(単位: 億円)



※ 符号は利益の貢献に対して表示

## 設備投資

設備投資	主な件名	【参考】当初計画
東京ガス: 1,598 億円 (▲6億円,▲0.4%)	製造設備 :351億円 (▲2億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス: 1,604億円
	供給設備 :1,006億円 (+6億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等:239億円 (▲11億円) システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計: 785億円 (+2億円, +0.3%)	海外上流投資 305億円 オンサイトエネルギー-80億円(ENAC)他	連結子会社計: 783億円
合 計 2,370億円 (0億円,0.0%, 連結消去後)		合計:2,370億円 (連結消去後)

※ ( ) 内増減は対2014年度当初計画の数値

## 投融資

172億円(投融資244億円、投融資回収▲72億円、対当初▲22億円)

## 株主還元

647億円(TG個別分・キャッシュフローベース、対当初変更なし)  
(13年度期末及び14年度中間配当247億円、14年度自社株取得額400億円合計)

## 所要資金と資金調達

【2Q実績】

所要資金		資金調達		
設備投資	864	自己資金	減価償却等	681
その他投融資※	▲59		経常利益	726
決算資金	428		その他	289
自社株取得	400		計	1,696
償還・返済 (個別分)	581 (407)	外部資金 (個別分)	518 (330)	
計	2,214	計	2,214	

【年度見通し】

(単位:億円)

所要資金		資金調達		
設備投資	2,370	自己資金	減価償却等	1,420
その他投融資※	172		経常利益	1,370
決算資金	664		その他	602
自社株取得	400		計	3,392
償還・返済 (個別分)	629 (413)	外部資金 (個別分)	843 (506)	
計	4,235	計	4,235	

※その他投融資は、投融資と投融資回収による相殺後。

年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれていない。

## 有利子負債残高

2013年度末:7,138億円

2014年度上期末:7,574億円 2014年度末見通し:7,420億円(対当初計画▲310億円)

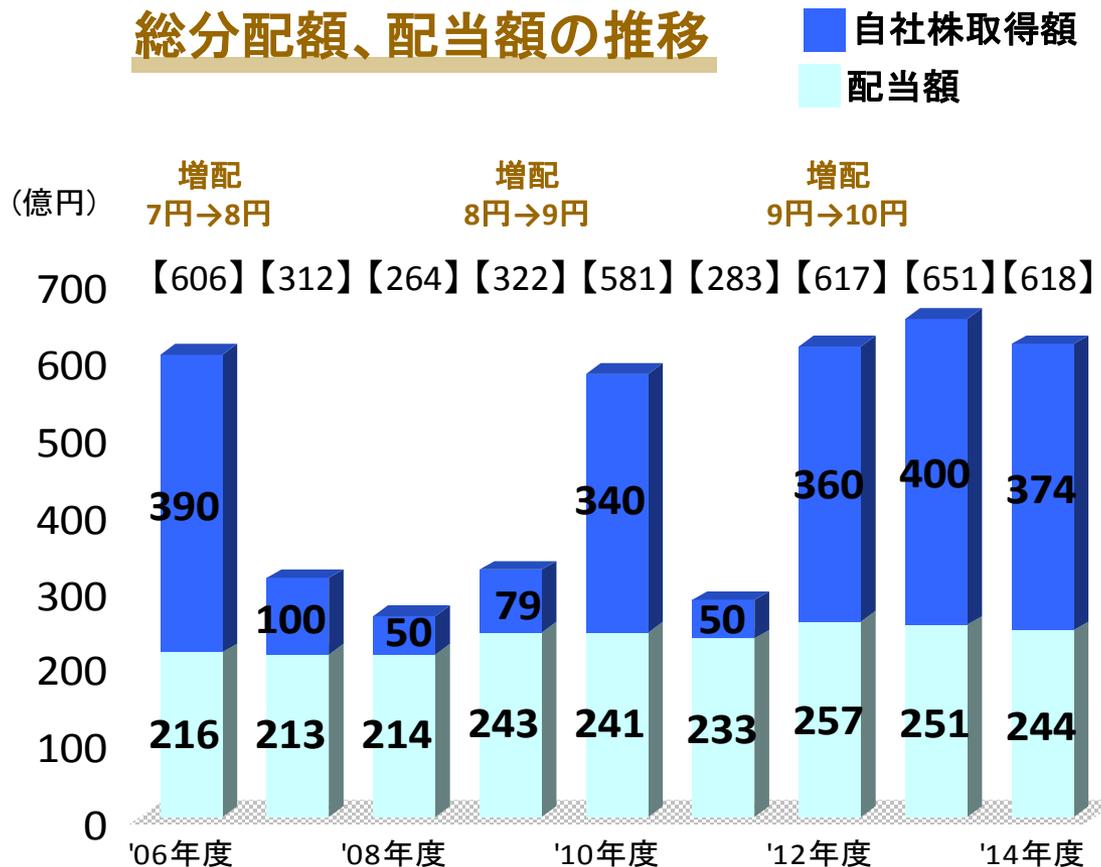
- 当社は、財務方針において総分配性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2020年度に至るまで各年度6割程度とし、配当と自社株取得により株主還元を行っている。
- 今回発表の2014年度連結純利益見通しに対し、10円の配当を維持し、6割の株主還元を行った場合の見通しは以下の通りとなる。

## 総分配性向60%を維持

$$\begin{array}{r}
 \text{総分配性向} \\
 \text{60.0\%} \\
 \\
 \text{2014年度} \\
 \text{配当額} \\
 \text{244億円} \quad + \quad \text{2015年度} \\
 \text{自社株取得} \\
 \text{374億円} \\
 \hline
 = \\
 \text{2014年度} \\
 \text{連結当期純利益} \\
 \text{1,030億円}
 \end{array}$$

※発行済株式総数: 2,446,778,295株(2014年9月30日現在)

## 総分配額、配当額の推移



総分配性向 (60.1%) (73.6%) (63.4%) (60.1%) (60.9%) (61.4%) (60.7%) (60.0%) (60.0%)

(単位: 億円)

	2014年度 今回見通し	2014年度 前回見通し	2013年度 実績
総資産 (a)	22,220	22,320	21,768
自己資本 (b)	10,510	10,360	10,117
自己資本比率 (b)/(a)	47.3%	46.4%	46.5%
有利子負債 (c)	7,420	7,710	7,138
D/E レシオ (c)/(b)	0.71	0.74	0.71
当期純利益 (d)	1,030	970	1,084
減価償却 (e)	1,420	1,420	1,403
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,450	2,390	2,488
設備投資 (Capex)	2,370	2,370	2,480
ROA: (d) / (a)	4.7%	4.4%	5.2%
ROE: (d) / (b)	10.0%	9.5%	11.2%
TEP	272	244	507
WACC	3.6%	3.5%	3.2%*
総分配性向	60%程度予定	60%程度予定	60.0%

注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分  
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

\* 発行済株式総数: 2,446,778,295株(2014年9月30日現在)

TEP(Tokyo Gas Economic Profit)について  
 TEP=NOPAT-資本コスト(投下資本×WACC)  
 WACC算定諸元(2014年度見通し)  
 ・有利子負債コスト 見通し金利1.1%(税引後)  
 ・株主資本コスト率  
   ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.8%  
   ・リスクプレミアム 5.5% β 値 0.75(※2013年度までリスクプレミアム4%)  
   ・資本金=時価総額

---

### 3. 参考資料

---

## 原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

		収支影響時期		
		第3四半期	第4四半期	下期計
変動時期	第3四半期	▲4	▲11	▲15
	第4四半期	—	▲6	▲6
	下期	▲4	▲17	▲21

## 円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

		収支影響時期		
		第3四半期	第4四半期	下期計
変動時期	第3四半期	▲12	+13	+1
	第4四半期	—	▲17	▲17
	下期	▲12	▲4	▲16

## 上期・下期別のスライド影響額

(単位:億円)

	上期	下期	通期
当初計画	47	▲59	▲12
前回発表	105	▲70	35
今回発表	139	▲31	108



### ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

### ＜資料における計算方法＞

数値は切り捨て、四捨五入をしていますが、変化率は実数で計算しているため、表上での計算が一致しないことがあります。

**TSE:9531**